

2010.3.23



医療教育開発センター ニューズレター

徳島大学大学院
ヘルスバイオサイエンス研究部
医療教育開発センター

1 巻頭言

1 巻頭言

2 取組紹介

- 特集 I
徳島大学新スキルス・ラボ開設記念FD事業
Simulation医療教育Workshop in徳島
- 特集 II
大学院GP 組織的な大学院教育改革推進プログラム
「医療系クラスターによる組織的大学院教育」
- 大学院リトリート
第5回 Tokushima Bioscience Retreat 報告
- スキルス・ラボ利用実績報告

3 平成21年度の主な活動



ご挨拶

医療教育開発センター長 赤池 雅史

医療教育開発センターならびにスキルス・ラボが最終移転を完了して、約10か月が経ちました。スキルス・ラボについては、開設記念FD事業としてSimulation 医療教育Workshopを開催するなど、シミュレーション教育や職種間連携教育の

拠点として順調に利用が伸びております。シミュレーターの整備についても、学内経費だけでなく「がんプロ」や徳島大学病院の専門（後期）研修プログラムである高度医療人GP「四国本州メディカルブリッジ高度医療人養成」等との連携によって、卒前教育から卒後研修に至るまで、さらに充実しています。シミュレーション教育においては、学習者が単独でシミュレータを用いた自己流練習を行うだけでは、誤った手技を身につけ、かえって医療事故が増えるケースも想定されています。今後は、これらの機器について、その使用マニュアルや学習シラバスの作成と公開ならびに予約システムのWEB化等を行うと共に、その管理・運用を担当する専任インストラクターの活動時間の延長や外部講師招聘による講習会の定例化等、運営システムの充実に取り組む所存です。

大学院教育支援については、文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラム「医療系クラスターによる組織的大学院教育」と学長裁量経費に基づいて、教育クラスターの活動支援に取り組んでいます。平成22年度からのクラスター大学院の開始に備え、今年度は「心・血管」「肥満・糖尿病」「感染・免疫」「骨とCa」「ストレスと栄養」「脳科学」の6つのクラスターが、兵庫県立淡路夢舞台国際会議場ならびにウエスティンホテル淡路でミニリトリートを開催しました。各リトリートでは、大学院生による研究発表とご高名な学外講師による特別講演が行われ、若手研究者、教員を含めた参加者全員が、組織・領域を超えて活発に討論と研究交流を行いました。参加者アンケートでは約90%の方が継続開催を希望されており、各クラスターの責任者ならびに実務をご担当いただいた教員・事務職員の方にこの場を借りて心より御礼申し上げます。研究交流の象徴的事業として、次年度以降もぜひ取り組んでまいりたいと存じます。

医療教育開発センターが、ヘルスバイオサイエンス研究部の教育支援組織として有効に機能するためには、蔵本キャンパス全体のご支援が不可欠です。今後とも皆様のご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

2 取組紹介

特集 I

■徳島大学新スキルス・ラボ開設記念FD事業 Simulation医療教育Workshop in徳島

と き：平成21年10月23日～25日

と ころ：徳島大学スキルス・ラボ、医学部第3・4会議室

講 師：阿部幸恵先生（東京医科大学 卒後臨床研修センター）

安井清孝先生（慶應義塾大学医学部 医学教育統轄センター）

参加者：29名（医師8名、看護師18名、検査技師1名、看護学科教員1名、医療機器メーカー社員1名）

徳島大学の臨床技能学習施設（通称スキルス・ラボ）は2004年秋の開設以来2度の仮移転を経て、2009年5月に改修された医学部臨床研究棟1階に新装オープンしました。これを記念し、スキルス・ラボの活用方法を学ぶFD（教員能力開発）として、講演会および、「小さなシミュレーション医療教育」と題したワークショップを2009年10月23日～25日の3日間にわたり開催しました。シミュレーション教育は、医療の質と安全のために、医療人の卒前教育、卒後研修、生涯教育のなかで不可欠となっています。

今回は、日本のラボのコーディネーター（インストラクター、管理人、管理者などと様々に呼称）として、最も経験と実績を持つ阿部幸恵先生と安井清孝先生を招いて、高額の機器や専用施設がなくても実施できる「小さなシミュレーション医療教育」のノウハウを学びました。

●Simulation医療教育講演会

講 演 『シミュレーション医療教育の可能性』

阿部幸恵先生

デ モ 『小さなシミュレーション教育 慶應義塾での工夫』

安井清孝先生

●Workshop 『小さなシミュレーション教育』



講演



グループごとにプログラム作成



テーマ:BLS



ビデオフィードバック



振り返り・意見交換

特集Ⅱ

■大学院GP 組織的な大学院教育改革推進プログラム 「医療系クラスターによる組織的大学院教育」

平成21年度文部科学省・組織的な大学院教育改革推進プログラムに採択された『医療系クラスターによる組織的大学院教育』が平成21年10月よりスタートしています。医療系の全領域を網羅する教育・研究組織がひとつのキャンパスに集約している蔵本地区の特徴を活かして、今年度は医療系5大学院博士課程から学生を選抜し、所属大学院・専門分野の異なる複数の指導者で形成した6つの教育クラスターが設定されました。医療教育開発センターでは、この研究教育を支援しています。

●スタンフォード大学教員招聘(10/17-18)

講師：Sally Arai, M.D



●講演会(12/10)

『旭川医科大学が推進している大学教育』

講師：吉田晃敏先生 (旭川医科大学長)



●ロチェスター大学視察(12/17-20)

視察場所：Cardiovascular Research Institute (CVRI) of University of Rochester

●各クラスターによるミニリトリート



「感染・免疫」(11/28-29 参加28名)



「脳科学」(1/16-17 参加25名)



「心・血管」(1/29-30 参加24名)



「骨とCa」(1/29-30 参加33名)



「肥満・糖尿病」(1/30-31 参加19名)



「ストレスと栄養」(2/19-20 参加22名)

■大学院リトリート 第5回 Tokushima Bioscience Retreat 報告



と き：平成21年9月17日(木)～19日(土)
と ころ：香川県 リゾートホテルオリビアン小豆島
参加者：5 教育部より41名
内 容：セミナー(研究発表)、特別講演、懇親会

本年も学長裁量経費の支援を得て、大学院リトリートが開催されました。セミナーでは、学生が日ごろの研究テーマについて堂々とした発表を行い、懇親会では分野の異なる院生や教員が語り合いました。

特別講演としては、国立循環器病センター研究所長の寒川賢治先生をお招きし、大変excitingなお話を伺うことができました。

また、今年も研究部長の配慮により若手研究者奨励賞を設けました。受賞した3名には、副賞として海外での学会旅費の一部が補助されることになっています。

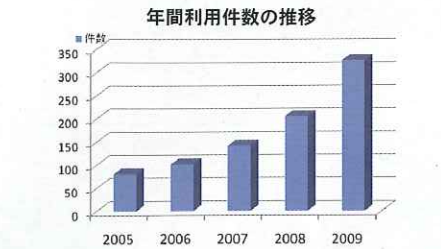
受賞者

安倍 知紀さん (栄・生体栄養学 博士前期課程1年)
清水 嘉文さん (薬・衛生薬学 博士前期課程1年)
土井 祐輔さん (薬・薬物動態制御学 博士前期課程2年)
李 勤凱さん (栄・代謝栄養学 博士後期課程3年)(9月卒業)

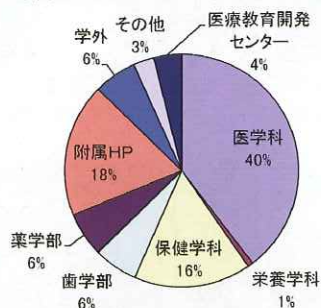


若手研究者奨励賞 表彰式
平成21年10月21日 研究部長室にて

■スキルス・ラボ利用実績報告



H21年度スキルス・ラボ利用割合(延べ7466名)



●CV講習会

中心静脈穿刺&カテーテル留置 (CV) の適切な手段習得の為に、スキルス・ラボでは2009年10月より、個別講習会を『2名、90分コース』にて実施しています。2月現在、麻酔科ローテーション中の研修医9名が受講しています。



●医学科4年次基本的診療技能実習(1/22-2/23)

スキルス・ラボ等にて、インストラクターを含む指導教員による実習が行われています。



●オープンスキルス・ラボ(2/22-26,10:00-21:00)

医学科4年生を対象に平成22年2月28日のOSCEに向け、自己学習可能な環境を提供します。

3 平成21年度の主な活動 -H21年4月~H22年3月

- ◆5月7日 移転 (外来病棟1階→共通講義棟)
- 9月30日 蔵本合同WS「チーム医療入門」(医・歯・薬・看護1年生)
- 10月19~23日 大学院GP講演会(講師:Sally Arai,M.D. スタンフォード大学)
- 12月10日 大学院GP講演会(講師:旭川医科大学長 吉田晃敏)
- 2月12日 名古屋大学スキルス&ITラボ視察(当センター職員4名)
- 3月24日 大学院GP 平成21年度報告会

◆会議・WG

- 当センター運営委員会/教務部会 (6回)
- 統合医療学際教育英語プログラム/国際環境・予防医学英語特別コース運営委員会 (3回)
- 平成22年度教育部共通カリキュラム科目授業時間割編成会議 (1回)
- スキルス・ラボ運営WG (3回) ●授業評価システム検討WG (2回) ●IPE推進WG (2回)
- 薬学部病院実習FD WG (6回)

◆視察等受け入れ

兵庫医科大学/青藍会ホームカミングデイ/オープンキャンパス スキルス・ラボ見学/文部科学大臣政務官 高井美穂衆議院議員
マレーシア大学/明治薬科大学/第12回国立大学法人等監事協議会中国・四国支部会議(スキルス・ラボ見学) 他

◆スキルス・ラボ関係

- 看護職員確保モデル事業・実務研修(主催:県看護協会)
- 医学体験(スキルス・ラボ)研修(徳島文理高校/徳島県下高校生対象)
- 個別CV(中心静脈穿刺)講習会(6回) ●腰椎穿刺講習会(卒後臨床研修センター共催 2回)
- 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム 大学院臨床腫瘍学教育課程セミナー(2回) 他

◆e-learning運営

◆模擬患者(SP)活動指導(のべ384人 83件)

- SP講習会(5回) ●SP研究会(10回) ●医学部54件 歯学部8件 薬学部2件 その他4件

医療教育開発センターニュースレター Vol.5 2010. 3. 23

編集・発行 徳島大学大学院HBS研究部医療教育開発センター
〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18番地の15

TEL: 088-633-9104 / FAX: 088-633-9105

ホームページ: <http://healthbio.basic.med.tokushima-u.ac.jp/jp/medc.html>